



進路資料室だよ

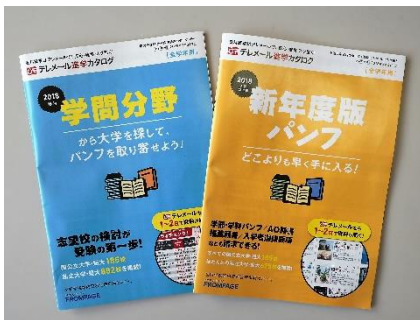
平成 29 年
7 月 19 日

早いもので1学期が終わり、夏休みになろうとしています。普段と違ってゆっくり進路について考えたり、家族と話し合ったり、学校見学に行ったりする時間がとれると思います。大切な時間を有効に活用して、自分の進路について考え、積極的に行動してください。

各クラスの進路係にたくさんの資料を運んでもらいました。そのうちのいくつかを紹介します。これらを元に諸君には夏休みの過ごし方について考えてもらいたいと思います。

1 「自分の進路は自分で決める」

保護者や先生方からアドバイスをいただきながらも、自分の進路は自分で決めること、自分自身が納得した選択であることが重要です。そのためには自分の興味・関心や適性などを知る努力と、将来の職業や上級学校、受験方法などの情報を自分で集めるなどの活動が必要です。「大学案内」や「入試要項」を取り寄せたり、各学校のHPを見て研究しましょう。



(写真) 大学や職業について紹介している冊子、大学案内などを取り寄せるためのカタログ、大学の研究室と大学とその周辺の「博物館・美術館」について紹介しているパンフレットです。

2 「進路についてよく話し合う」

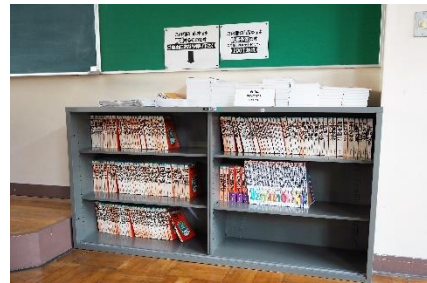


夏休みには保護者懇談（三者懇談）が予定されています。自分の将来をどのように考えているのか、実現のためどのように活動しているのかなど、保護者とよく話をしてください。そして保護者の考えもよく聞いてください。とくに「お金（学費・生活費）」など、自分だけでは判断できないことについてもよく話し合ってください。

(写真) 保護者懇談で保護者にお渡しする資料です。

3 「オープンキャンパスに参加する」

夏休みには多くの大学でオープンキャンパス（大学見学会）が開催されます。大学の講義や施設、雰囲気などを知るために、またその後の学習意欲を高めるためにもオープンキャンパスに参加してください。とくに1年生と2年生は必ず参加しましょう。



(写真) オープンキャンパスのガイドブック、進路学習室の「持ち帰り自由本棚」、進路資料室で大学について調べている3年生です。

4 「学校を上手に利用する」

夏休みには、学習合宿や前期と後期の課外があります。「予習→授業→復習」という学習サイクルは学期中と同じですが、疑問点などを積極的に「質問する」ことも重要です。課外のない午後は、質問の時間に充ててもよいと思います。学習は積み重ねが重要です。そのためには生活リズムを崩さないことが大切です。課外が実施されない日も学期中と同様に登校し、図書室（冷房あり）や進路学習室（扇風機あり）で学習するなど、学校を上手に利用しましょう。

進路学習室にある「持ち帰り自由本棚」の赤本もすいぶん減りました。新たに「廃棄する問題集」も置いておきますので、持ち帰ってしっかり学習しましょう。

5 「大学入試について知る」

現在の大学入試は実に多様です。諸君も大学の種別や入試制度、入試方法などについて研究しましょう。



(写真) 志望校検討ガイド（3年）・学問発見ナビ（2年）と進研模試の結果からわかった大学合格ラインを示した冊子です。

進路資料室の利用

夏休み前ということで進路についての相談や「赤本」を借りに来る3年が続出しています。最新の「2018年版」は、これから発売されるものがほとんどです。「2017年版」を参照したい諸君は進路資料室へ来てください。また「2017年版」はまだ書店に並んでいるかもしれません。「古本」で販売されているものもあります。定価より安くなっているものもあるようなので、気になる大学の過去問は手に入れておきましょう。



(写真) 進路資料室の閲覧机にある本です。